

働くや就活へつながると真ん中の経験を



活動レポート 2023

ガ・ク・チ・カ

|

## 学生時代に、 あなたが最も力を入れて 頑張った経験は？

この質問は、大学生活を経た就職活動の面接の際に、必ず聞かれるものです。本格的な就職活動を迎えたとき、どんな経験を語ることができるか、4年間の大学生活における時間の使い方は非常に重要です。

社会人への移行期間でもある大学生活の過ごし方は、自由である一方で、将来に大きな影響を与えます。是非、イメージしてみてください。皆さんは大学での4年間、どのような学生生活を過ごしたいですか？



実は、期待感を抱いてはじまった大学生活の中で「もっと積極的に行動しておけばよかった」「就活で語れる経験がない」等、大学生活を後悔する学生は約 65 パーセント存在すると言われています。(※Original Point 株式会社 大学生意識調査より)

自由であるが故に、何となく過ごしていると、大学・サークル・バイトの往復であっという間に時間だけが過ぎていきます。

だからこそ、大東文化大学キャリアセンターでは、みなさんの大学生活の可能性を広げる選択肢の一つとして、4年間の大学生活を有意義に過ごすきっかけとなる機会を用意しました。

それが、**DAITO キャリアプロジェクト**です。



カリプロで 働くや就活へつながる  
と真ん中の経験を試してみませんか？

「新しいサークル？」 「ゼミ？」

# キャリアプロは将来について ちょっと真面目に向き合う 学生のための学びの場です。

## プログラムのポイント

- 1 大学生生活や将来活かせるスキル**  
 コミュカ、思考力、プレゼン力をはじめ、大学生活や就活・社会人生活で活かせるスキルを磨くことや強みの発見ができます。
- 2 仲間や社会人との出会い**  
 グループワークが基本のため、学部外の友達、活躍する社会人等、新たな出会いやつながりが得られます。
- 3 “就活” “働く” のヒント**  
 就活や働くにおけるヒントを、リアルな採用担当者の声などから、聞き、学ぶことができます。
- 4 学生主体のプロジェクトへ挑戦**  
 前期は企業と連携したプロジェクト、後期は学生主体のプロジェクトを積むことで、スキル獲得や就活に活かせる経験を得られます。

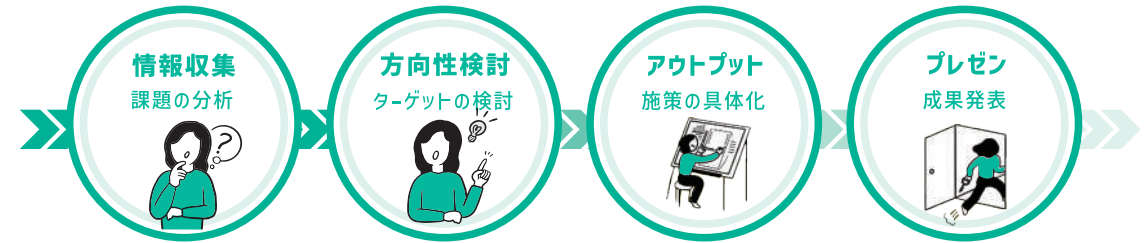
## オススメの学生

- # 大学生活を有意義に過ごしたい # 将来やりたいことが漠然としている
- # 学部を超えた友だちと繋がりたい # 大学生ならではの挑戦がしたい
- # 就活や働くに向けて準備したい # 自分の強みや軸を発見したい

## # キャリプロで取り組むプロジェクトとは

### 前期のプロジェクト

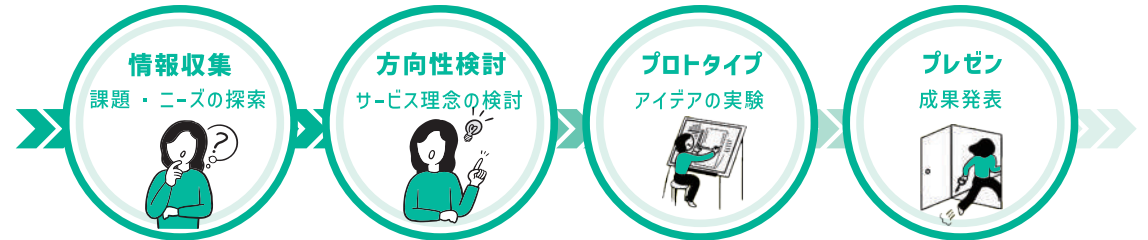
前期は、プロジェクトを成功させるための基礎を学び、その実践としてミニ PBL を体験しました。アウトドアライフストア WILD-1などを運営する(株)カンセキの大田垣代表からの「新しいお客様を増やす施策を考えよう!」というお題のもと、チームで課題を探求しました。



「誰をターゲットにするか?」「ターゲットを集客に結び付ける魅力とはなにか?」を議論しながら、最終的に大田垣代表にプレゼンテーションを行いました。自分たちの考えが形になる喜び、外部の方に評価していただく体験は、大きな自信となりました。

### 後期のプロジェクト

前期の活動を受けて後期では、「SDGs」「地方創生」「グローバル」「エンタメ」「大東文化大学」の5つのキーワードから興味のあるテーマを各人が選び、興味を持った学生同士がチームを組み、活動しました。その上で、テーマに沿ったサービスのプロトタイプ(試作)を練り上げた後、実際にプランを実行し、最終的にはチームでどんなサービスを作りたいかを形にし、報告会にて発表しました。



プロトタイプを練り上げる過程においては、社会人を巻き込み、交渉するチームや、独自で集客を行い、実際にイベントを実行したチームもあり、主体的な行動を起こしていきました。最終的には、起業家へのプレゼンテーションを行い、活動へのフィードバックをいただきました。

## # 前期のプロジェクト - 企業の課題を解決する

前期プログラム		①東松山キャンパス -対面講座-	社会人との対話や企業と連携したプロジェクトにより、 新たな一歩を踏み出しましょう
1回目	5/9(火) 16:45~19:45	<b>キャリアスタートアッププログラム</b> -コミュカと議論スキルを学び、成長テーマを考える-	#議論の術を磨く #グループワーク実践
2回目	5/16(火) 16:45~18:15	<b>大学生活や働くを社会人と考える</b> -社会人との対話から社会と大学の違いを知る-	#業界・職種を理解 #社会人とつながる
3回目	5/23(火) 16:45~18:15	<b>社会で求められる力を学ぶ</b> -自分らしいリーダーシップと価値を生み出す3つのPoint-	#リーダーシップ #働くを体感する
4回目	5/30(火) 16:45~18:15	<b>働くを体感する産学連携型PBL</b> -企業との協働プロジェクトを始動する-	#企業プロジェクト始動 #チームビルディング
5回目	6/6(火) 16:45~18:15	<b>価値を生み出す"情報収集力"</b> -価値を生み出すための情報収集力とターゲット設定-	#戦略立案 #リサーチ力
6回目	6/13(火) 16:45~18:15	<b>価値を生み出す"価値創造力"</b> -価値を生み出すための思考法-	#アイデア発想 #思考力
7回目	6/20(火) 16:45~18:15	<b>プロジェクト質を高める"チーム学習"</b> -コンテンツとプロセスの振り返り-	#協働力を磨く #チーム学習
8回目	6/27(火) 16:45~18:15	<b>価値を届けるプレゼンテーション</b> -プレゼンテーションに必要な事前準備とテクニック-	#プレゼン力 #資料作成力
9回目	7/8(土) 10:00~13:00	<b>産学連携型PBL最終プレゼンテーション</b> -プロジェクト成果発表と振り返り-	#成果発表 #強みを発見する
特別講座	7/18(火) 16:45~18:15	<b>インターン&amp;就活スタートアップ講座</b> -将来求められることを理解し、夏休みにおいて準備するべきことを考える-	#自己分析 #夏休みの目標設定

## # 前期の優勝チーム - 各グループのプレゼンバトル

産学連携型 PBL 最終プレゼンテーション

テーマ WILD-1 ふじみ野店の売上拡大策「新しいお客様を増やす施策を考えよう！」

A グループ 優勝チーム

新たな家族空間を  
～キャンプ未経験者に魅力を知ってもらいたい～





B グループ 優勝チーム

ふじみ野市を『愛犬 × キャンプ』のまちに  
～ WILD - “わん” で新規顧客にアプローチ～





## # 前期プロジェクトを通じた学びの声



自分の強みや課題を自覚することができた。また、アイデアを出す時にひとつに固執せず広い視野で考えることの大切さを学んだ。

新しい環境に飛び込んでみるのも悪くない。周りのみんなが自分の意見を受け入れてくれたので、あまり身を構えずにすぎなくてもいいんだなと思った。

メンバーそれぞれの思っていることや考えていることが違うので、話し合いを進めるときに全員の中で共通の認識を持つことがとても大切だということ。

企業目線で、価値提供する方法や、顧客の潜在的価値を見出す方法を知れた。

## # PBL 協力企業の声

まずは、プロジェクトに参画する機会を得たことに感謝申し上げます。私の学生時代を思い起こすと、自分のキャリアを考えることなど全くなく、とりあえず社会に出ることが目標となっていました。それに対して、キャリアプロ学生の皆さんは、課外の時間を利用して、能動的にこのプロジェクトに参加するという姿勢に驚かされました。そして我々が出したつたないテーマにそれぞれのグループが真摯に向き合い、若者らしい豊かな発想力でアイデアをプレゼンしてくれました。その時に提案された「WILD1」の子供のいる家庭向け特別会員「CHILD1」という名称はすでに商標登録されていたため使うことは出来ませんでした。実際に社内での検討を行いました。「行動」の結果が「成果」です。行動しないと成果は生まれないということをこのプロジェクトを通じて理解すれば、社会に出てきつと役に立つと思います。皆さんには大きな可能性があります！頑張ってください！

優勝チームをねぎらう  
(株)カンセキ大田垣代表






## # 後期のプロジェクト - 興味からサービスを創る

後期プログラム @東松山キャンパス -対面講座-		学生主体のプログラムにより、世の中に新たな価値を生み出し、自分の強みや理想を磨きましょう	
1回目	9/26(火) 16:45~18:15	<b>大学生と真ん中プロジェクトスタート</b> -自分らしいリーダーシップとプロジェクト推進の準備をする-	#学生プロジェクト始動 #チームビルディング
2回目	10/3(火) 16:45~18:15	<b>社会人との対話により視野を広げる</b> -プロジェクトに取り組む意義やポイントを理解する-	#事業ノウハウを学ぶ #社会人とつながる
3回目	10/10(火) 16:45~18:15	<b>プロジェクトを円滑に進めるロジカルシンキング</b> -プロジェクトを加速させる思考法-	#思考力 #2つの思考スキル
4回目	10/17(火) 16:45~18:15	<b>価値を広げるマーケティング</b> -ターゲットに価値を届けるためのHowを学ぶ-	#アイデア発想力 #マーケティング力
5回目	10/24(火) 16:45~18:15	<b>プロトタイプ的设计を考える</b> -プロトタイプの意義を理解し、構築する-	#デザイン思考 #プロトタイプ設計
6回目	11/7(火) 16:45~18:15	<b>プロジェクト中間発表とチーム&amp;個人学習</b> -プロジェクトの質を高める振り返り-	#チーム学習 #自分の強み・課題発見
7回目	11/14(火) 16:45~18:15	<b>グループワークによる方向性の具体化</b> -メンターの助言を踏まえて、価値を具体化する- ※学生メンター実施会	#グループワークの実践 #チーム学習
8回目	11/21(火) 16:45~18:15	<b>プロジェクトを成功に導くための学び直し</b> -プロジェクトに必要なポイントを学び直す-	#経験学習 #モチベーション
↓ 形にしたプロジェクトのプロトタイプを実践する ↓			
9回目	12/5(火) 16:45~18:15	<b>価値を届けるプレゼンテーション</b> -プレゼンテーションに必要な事前準備とテクニック-	#プレゼン力 #資料作成力
10回目	12/12(火) 16:45~18:15	<b>価値を届ける発表会</b> -発表と成果発表会に向けた準備- ※学生メンター実施会	#プレゼン力の強化 #成果発表の準備
11回目	12/23(土) 10:00~13:00	<b>プロジェクト最終プレゼンテーション</b> -プロジェクト成果発表と振り返り-	#成果発表 #自己分析・目標設定

## # 後期の優勝チーム


**1位** 学生目線から仕掛けを考える『SDGs 実感の創造』 チーム名：チーム SDGs/SDGs

- 達成目標：大東生のペットボトルごみ排出量半減を実現する
- 実態調査：キャンパス内の水ペットボトルの販売数量+一本の二酸化炭素排出量、冷水器の設置状況等
- 方策(提案)：マイボトルの制作(デザインコンテスト開催)  
⇒使用してもらいSDGsを実感してもらおう+大東文化らしさ(狭山茶とコラボした大東グリーンティーや東松山市とコラボしたハニーホワイトを使用したコーン茶の開発・販売)




**2位** 交換留学生と日本人学生の架け橋となる『異文化交流会』の開催 チーム名：ジャンスピ同好会 / グローバル

- 事前調査：国際交流センターへの聞き込み(学部留学生と交換留学生の違い等)
- 集客方法：国際交流センターを巻き込んだ情宣、ポスター制作
- 実施内容：手作りの自己紹介シート+ゲーム(ジャングルスピード・UNO)  
様々な国の方々と日本人学生との異文化交流機会の創出を実現!

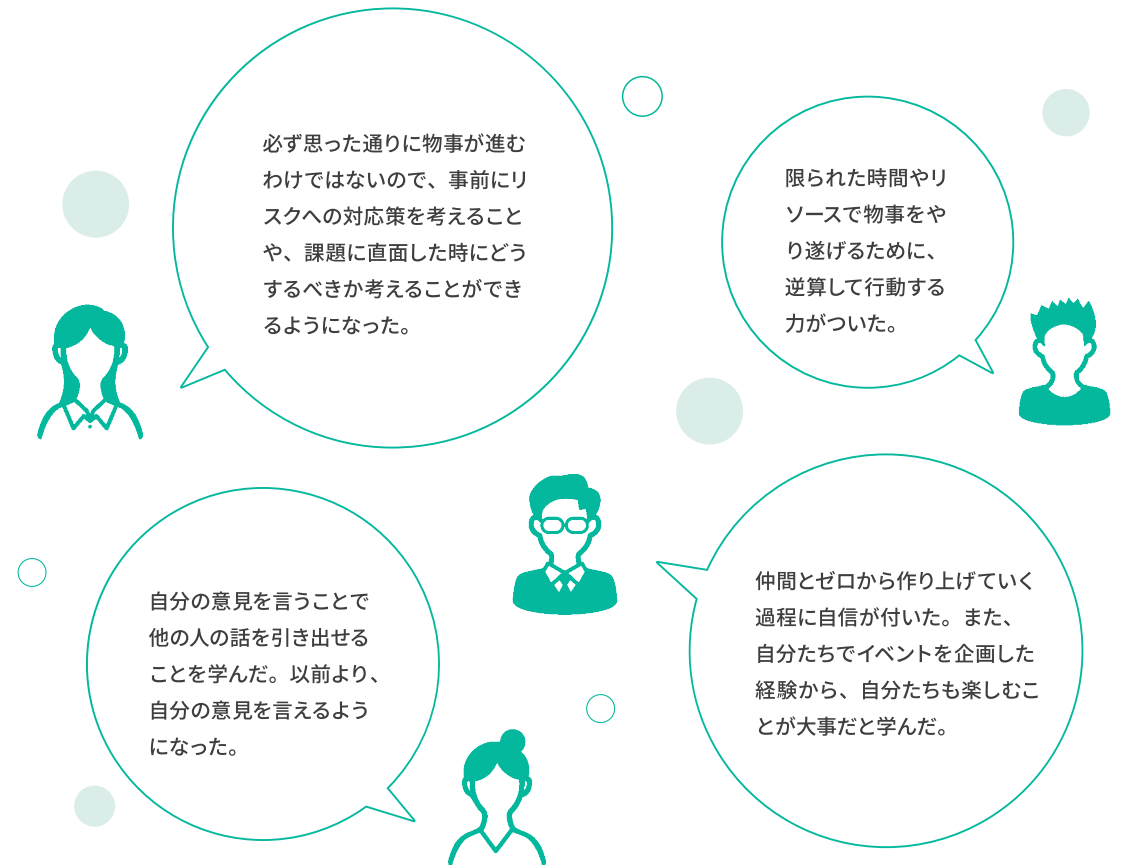


**3位** 学生生活を豊かにするための『大東交流会』の開催 チーム名：フリータイム / エンタメ(大東文化大学)

- 事前調査：大卒者の大学時代の悩み、現役生のサークル加入率・出会いに対する価値観等
- 集客方法：インスタグラム、キャンパスでの呼びかけ、ポスター制作
- 実施内容：グループ対抗のエンタメ(名前の漢字当て・謎解き・人狼等)  
学部の垣根を超えた交流会を実現!(リピートの声が多数あり、プロジェクト終了後も第2回交流会を実現!)



## # 後期プロジェクトを通じた学びの声



必ず思った通りに物事が進むわけではないので、事前リソースへの対応策を考えることや、課題に直面した時にどうすべきか考えることができるようになった。

限られた時間やリソースで物事をやり遂げるために、逆算して行動する力がついた。

自分の意見を言うことで他の人の話を引き出せることを学んだ。以前より、自分の意見を言えるようになった。

仲間とゼロから作り上げていく過程に自信が付いた。また、自分たちでイベントを企画した経験から、自分たちも楽しむことが大事だと学んだ。

## # プレゼンテーション評価者の声

テーマや活動内容は多様でしたが、いずれのチームもプロジェクトの実践プロセスを通じて達成感あるいは課題を感じ取り、成長している姿がプレゼンテーションから感じられ、頼もしく思いました。どんな道に進むにしても、主体的・協働的にものごとに取り組み、PDCAサイクルを回していく。その連続が人生そのものです。1人1人が、それぞれの分野で活躍していくこと。後輩たちが、先輩も驚くような学びを実践・表現していくことを期待いたします。



教育探究家 加藤聡

# キャリアプロの学びを支えるサポーター

## # キャリプロ卒業生によるメンター制度とは

大東文化大学の先輩にあたるキャリアプロ経験者が、キャリアプロの現役受講生を支える制度です。グループワーク主体のキャリアプロでは、迷うことも沢山あります。メンターが1グループに1人以上はいることで、皆さんの考えを深めたり行動を後押ししてくれます。

経験者だからこそ、悩みや不安に寄り添ったサポートができます。また、以下の役割にあるように、1人1人が活性化するようなサポートを心がけています。このように様々な人から学びのサポートがあるからこそ、誰でも安心して挑戦することができる環境がキャリアプロにはあるのです。



## # キャリプロメンターの声

メンター活動を通して、①全体的に見て客観的に考える力②色々な人の価値観に触れたことで深まったコミュニケーション力③苦手を克服する努力と得意を伸ばす意識づけを学ぶことができました。新たな自分の課題を見つけない方、向上心のある仲間と関わりたい方はメンタープログラムがオススメです！

昨年の経験をそのまま受講生に伝えるだけではプロジェクトの成功につながらない、というメンターの難しさに直面。経験の中から活用できそうな内容をかき集めて改善策を導き出す必要性を学びました。講師の高橋さんとキャリアセンターの方々、そして個性豊かな仲間と一緒に仕事ができることは“おもしろい”ポイントです！



2期生の発表を真剣に聞き入るメンター(手前) 秋山さん(奥) 安田さん

## # キャリプロ進行

Original Point (株) 代表 高橋政成



このプログラムを経て、「意識・行動が変わる」大東生のリアルを目の当たりにしてきました。4年間の大学生活、授業で学ぶ、友達と遊ぶ、いろんな時間の使い方があると思いますが、1~2割の時間を将来の自分のために投資する。そんな、ちょっと真面目な時間の使い方ができると、みなさんの大学生活やその先の就活・働くがよりよく前進すると思います。普段、教育領域の会社を運営しているちょっと変わった立場から、引き続きみなさんの学びをサポートしていければと思います。

## # キャリプロを支える人たち

国際関係学部 国際関係学科

細田咲江 教授 (キャリアセンター所長)

大学での新しい学びの場である「キャリアプロ」の活動、お疲れ様でした。1年生は入学直後の右も左もわからない状態から、2年生は新学期が始まってすぐのスタートで、何をやっていくのかワクワクとドキドキのスタートだったかと思います。それでも、初めて体験するユニークなプログラムにチームで取り組む中で、学部を超えた仲間との出会いがあり、自分の興味の方向性に気がつき、大学での目標を見つけた学生もいることでしょう。大学とは、立場や価値観の違う仲間が集い、講義だけでなくあらゆる場で交流し、互いに刺激し合って友情を育み、人として成長する場です。「キャリアプロ」の皆さんは、この1年で成長した自分に自信を持ち、次の活動のステージに進んでいってください。私たちサポーターは、これからも皆さんを応援し続けます。成長の歩みをとめることなく、大東文化大学での学びを深めていきましょう！



キャリアセンター職員



2021年の中頃(このプロジェクトの企画段階の頃)大東生たちの成長を生み出す基盤をいかに作り上げることができるか、細田先生や他のスタッフと暗中模索の日々でした。高橋代表との幸運な出会い、そしてキャリアプロ1期生がメンターとして活躍する姿と、2期生がめざましく成長する姿に接し、大変感慨深い思いです。2024年、キャリアプロは3期目へ向かいます！

